

【共通事項】

- (1) 新型コロナウイルス感染症による様々な影響に対する市の対応方針を記載されたい。
- (2) 送り仮名など、表記は揃えるべき。
- (3) 何でも学校で教育するという発想はやめるべき。
- (4) 「施策の方向」という言葉をより分かりやすいものに修正されたい。
- (5) 指標の目標値について、「以上」「以下」という表現をされたい。

第1章 計画の概要

第1節 施策の体系

- (1) 施策の見出しが「名称」となっているが、分かりやすいよう「施策名称」とされたい。

第2節 人口ビジョン

- (1) 人口ビジョンの実現に向け、子育て支援や教育など少子化対策を計画にし、わかりと記載されたい。
- (2) 若い世代の東京などへの流出対策について具体的に示されたい。
- (3) 人口を減らさないことを目指すのか、減っても成り立つことを目指すのかを明確にされたい。
- (4) 人口が減った際に起こる問題などを示し、分かりやすくされたい。
- (5) データを掲載することで、市民に影響を分かりやすく伝え、市民自らが市を支える一人であるという意識を醸成されたい。
- (6) 人口ビジョンを設定した理由を明確にし、課題、重点プロジェクトとの関連づけを分かりやすくされたい。

第2章 計画推進に向けた視点

- (1) SDGs と三島市との関連性を明確にし、計画推進に向けた視点に入れた意味を分かりやすくされたい。
- (2) SDGs の記載に持続可能性だけでなく「誰一人取り残されない」という旨を追記されたい。

第3章 重点プロジェクト

【保つ力】

- (1) 保つ力の内容に「歴史・文化」「エネルギー・気候変動対策」などを追加

されたい。

- (2) 「生産年齢人口の減少をできる限り緩やかに保ち」という表現では取組の決意が感じられないのではないか。人口減少は止められないが、漫然とやり過ぎさないという思いが表現できるよう修正されたい。
- (3) 今いる市民のことから優先するようプロジェクトの順番を変更されたい。
- (4) ①移住・定住の促進について、文書の順番を入れ替え整理されたい。
- (5) 企業誘致と就労促進の名称を就労促進と企業誘致に変更し、説明文についても修正されたい。

【稼ぐ力】

- (1) コンパクトシティの関係を重点プロジェクトに加えられたい。
- (2) ①三島駅南口周辺の整備では、稼ぐ力としては弱い。北口を含め駅周辺整備とされたい。
- (3) 古くからの歴史があり、近年急激な様変わりを見せている大通り商店街の活性化を重点プロジェクトに位置付けるべき。
- (4) ②観光振興に「箱根西麓」「スカイウォーク」「フルーツパーク」といった項目を加えられたい。
- (5) ③ガーデンシティみしまについて、②観光振興の中に含めるよう検討されたい。
- (6) ④企業支援について、稼ぐ力へのインパクトの大きい企業誘致の内容も盛り込むべき。
- (7) 森林や農地も資源として捉え、森林保全や就農人口の減少といった課題を解決し、稼ぐ力となるような新しいビジネスのアイデアも検討されたい。

第4章 施策の展開

【基本目標1】

1 危機管理体制

- (1) 指標を見て何を目指していくかが分かりやすいような設定にされたい。
- (2) 自主防災会の防災力を低下させないよう女性の参画を位置付けるような記載を追加されたい。
- (3) 現状と課題で「自主防災組織の役員の高齢化」とあるが、市全体が高齢化しているため、表現を検討されたい。
- (4) 自治会に参加していない方への周知について、現状と課題などへの記載をされたい。
- (5) 自治会に参加していない方も多く、家庭へ直接情報を届けるなど自主防災会以外の記載を充実されたい。
- (6) 子どもへの防災教育の観点を追記されたい。

- (7) 災害時要支援者の内容を1危機管理体制にも記載されたい。
- (8) 自主防災組織では人材育成が重要であるため記載を充実されたい。
- (9) 関連する内容は再掲として掲載されたい。
- (10) 周辺市町との連携に関する記載をより充実されたい。
- (11) 市民メールは情報伝達の重要な手段であるため、記載を充実されたい。
- (12) 地区防災計画の策定を推奨することを追記されたい。
- (13) 「マイタイムライン」を追記されたい。
- (14) 個人・家庭での自助と自主防災組織をはじめとする互助（共助）が混在している内容があり、分かりにくい。分けて記載されたい。

2 防災・減災対策

- (1) 耐震化率など分かりやすい指標を検討されたい。
- (2) 指標「普通河川改良延長」について、国・県の取組を含めた総合的な指標の検討をすべき。
- (3) 空き家に関する記載をされたい。
- (4) 三島市では津波の心配はなく、耐震化によって人命や財産を守れることを明記されたい。
- (5) 自治会に参加していない方などに向けてオンラインで情報を得られることを周知されたい。
- (6) グリーンインフラストラクチャーの観点を加えられたい。
- (7) 浸水想定区域が拡大されたことを踏まえ、対策強化を明記されたい。

3 生活安全・消費生活

- (1) 高齢者が増加することから、高齢者の交通事故防止は強化すべきであり、記載を修正されたい。
- (2) スマート市役所宣言をしているので、交通安全施設の整備や維持管理にビッグデータやAIの活用などを追記されたい。

4 環境

- (1) プラスチックによる海洋汚染に関する記載を追加されたい。
- (2) 公共施設について新エネルギー・省エネルギーの検討や活用などを追記されたい。

5 森林保全

- (1) 問題のある森林の面積がどの程度で、対策がどの程度進んでいるかが分かるような指標を検討されたい。

- (2) 森林の持つ機能について市民の理解が進むよう、目的の記載を検討されたい。
- (3) 森林保全に関する人材不足解消のため、儲かる森林への転換などのアイデアを追記されたい。
- (4) 樹種転換を積極的に進めるとともに、指標に樹種転換面積の目標を加えられたい。
- (5) 5 森林保全では節水を求め、32 上水道では水を使うようにとされている。整合を図るべき

6 廃棄物対策

- (1) プラスチックによる海洋汚染に関する記載を追加されたい。
- (2) 施設の老朽化対策について、より具体的な記載をされたい。
- (3) 最終処分場の整備について、市民と一緒に取り組む必要があること、整備の目標について追記されたい。
- (4) ごみ処理の広域的な取組について記載されたい。
- (5) ごみ処理の広域化の協議について、より具体的に記載されたい。

7 生活排水

- (1) 下水道の未整備地区についての方向性と広域化に関する内容について、より具体的な記載ができるよう検討されたい。
- (2) 佐野見晴台の切り替えなどを積極的に行っていることをPRすべき。
- (3) 公共下水道施設の維持管理について、取組内容をより具体的に記載するとともに、広域連携について記載を検討されたい。

【基本目標 2】

8 健康・医療

- (1) グラフの「悪性新生物」に（がん）を追記されたい。
- (2) 食育先進都市宣言を追記されたい。
- (3) 感染症対策について、行政側だけでなく、保育園や介護施設などでの対策が必要であるため、情報発信やイニシアティブの発揮などの追記をされたい。
- (4) 医薬分業と在宅服薬指導など薬剤師の活動について追記されたい。

9 スポーツ

- (1) スポーツではコミュニティが重要であり、SDGsに「11 住み続けられるまちづくりを」を追記されたい。

- (2) 週 1 回以上のスポーツ実施率についての指標は、市民意識調査の設問が異なるため、比較にならないと考える。指標の在り方を検討されたい。
- (3) 指標の「体育施設の利用者数」は学校の体育施設を利用している方が入っていないと、全体を掴めてないと考える。指標の在り方を検討されたい。
- (4) 現状と課題の記載について、敷居の高いスポーツに関する内容であると感じる。スマートウエルネスみしまの取組などを含め、記載内容を検討されたい。
- (5) グラフを掲載する意図を明確化されたい。
- (6) 1 億総スポーツ社会というレガシーの掲載は非常に良い。
- (7) 施策の方向(1)①、②、③で重複する部分があるので、整理されたい。
- (8) 静岡県総合健康センターの体育施設の活用を進めるとともに、追記されたい。

10 地域福祉

- (1) 指標に避難行動計画の作成率を追加されたい。
- (2) 子どもへの福祉教育の充実を図られたい。
- (3) 避難行動要支援者名簿の作成に加え、活用の観点も追記されたい。
- (4) 子どもへの福祉教育の充実を図られたい。

11 子育て

- (1) 施策名を「出産・子育て」に変更されたい。
- (2) 現状と課題の不妊不育症に関する課題について、記載順を上から 3 番目に変更されたい。
- (3) 出生数増加のため、若い世代への結婚、出産に対する意識づけの取組を明記されたい。
- (4) 父子世帯等、医療費の助成、父子世帯等祝い金などを検討されたい。

[基本目標 3]

15 幼児教育・小中学校教育

- (1) 指標の「幼稚園教育への保護者の満足度」について、100%の達成は現実的ではないと考えられる。指標の再検討をされたい。
- (2) 文部科学省の方針にあわせ公立幼稚園、保育園のあり方を検討されたい。
- (3) 小中一貫校方式の効果検証と必要に応じ、追記されたい。
- (4) 教員の指導力向上に関し、追記を検討されたい。
- (5) 小中学校の時から、地域や企業と連携して取り組むことが重要とされているため、道徳教育とキャリア教育に関する記載を別立てにし、学校・地

域、企業との連携を進める中で、ライフキャリアに対する意識の醸成をしていくよう修正されたい。

- (6) 「外国語によるコミュニケーション能力」という表記があるが、外国語教育は手段であるため文書を整理されたい。また、外国語さえ話せばコミュニケーション能力が育まれると捉えられる表現となっているため、修正されたい。
- (7) GIGA スクール構想に対応するための教員のスキル向上に関する記載を追記されたい。
- (8) 教師の性犯罪が話題にあがっており、教員に対する指導などの記載を追加されたい。
- (9) コミュニティスクールを推進するため、保護者への情報発信の強化をすべき。
- (10) 開かれた学校とするため、保護者と教員との意見交換をより充実されたい。
- (11) 小中学校の統廃合を含めたファシリティマネジメントの考えを明確化されたい。

16 生涯学習

- (1) ICT を使えるよう、生涯学習施設の整備について追記されたい。
- (2) 生涯学習に関する内容に ICT の活用の観点を加えられたい。

17 図書館

- (1) 学校と三島市立図書館の連携を進めるような方向性を記載されたい。

18 文化財

- (1) 歴史と文化財は分けて記載されたい。
- (2) 歴史の継承の観点も盛り込むべき。
- (3) 大岡まこと氏など、歴史的に三島市にゆかりのある人物の記載を追加されたい。
- (4) 現状と課題には少子高齢化への対応の必要性が記載されており、施策の方向にも対応を記載されたい。
- (5) 歴史的建築物の再現に向けた記載を追加されたい。
- (6) 文化財の環境整備として災害の復旧工事が記載されているが、環境整備にはふさわしくない。記載内容を検討されたい。

19 文化芸術

- (1) 野外音楽堂、コンサート場としての楽寿園の活用について追記されたい。
- (2) 文化施設の広域連携と活用について追記されたい。

20 多文化共生・平和

- (1) SDGs の記述に「16 平和と公平をすべての人に」を追記されたい。
- (2) 外国人児童・生徒への支援に関する内容を追記されたい。
- (3) 現在、市内に住んでいる方が多い国に対する理解促進を教育現場で実施されたい。
- (4) 姉妹都市との観光交流の具体化に向けたビジョンを記載されたい。
- (5) 大学がある強みを生かし、市民団体を含め連携強化をより前面に出した記載をされたい。

21 男女共同参画

- (1) SDGs の記述に「3 すべての人に健康と福祉を」を追記されたい。
- (2) 偏見や差別をなくすため、より強い表現に修正するとともに、社会全体で取り組むことが分かるような表現にされたい。
- (3) 「男性の育児休暇」「リプロダクティブ・ヘルス・ライツ」を追記されたい。
- (4) 「女性特有の健康上の問題に直面する女性に対して、」とあるが抽象的で分かりにくい。もう少し具体的な表現に修正されたい。
- (5) 女性特有の健康上の問題とあるが、女性に限定しない記載を検討されたい。
- (6) “ヤングケアラー” の支援の視点を追記されたい。

[基本目標 4]

22 商工業・新産業

- (1) みしま経営ステーション相談件数が指標としてあるが、経営状況の悪化で相談件数が増える。指標の在り方について、商店街の売上額や特産品・ブランド品の販売数などを含め検討されたい。
- (2) 施策の方向に評価事項を入れるべき。
- (3) 三島市地域ブランド推進協議会が関係団体と連携し、付加価値の高い三島らしい商品の掘り起こしや開発、プレミアムブランドの認定を進める旨を追記されたい。

23 企業誘致

- (1) 企業の誘致実績をグラフとして入れるべき。

- (2) 新たな工業団地に関する記載について、より踏み込んだ表現とし、具体的に進めていく方向性を示されたい。

24 観光

- (1) 観光交流人口を指標に追加されたい。
- (2) リニアの開通なども見据え、「東京～大阪のゴールデンルート上」という表現について検討されたい。
- (3) サイクリングの記載をより充実されたい。

25 農業

- (1) 最新の結果が出た統計データは随時修正されたい。
- (2) 施設園芸に向いている土地であるため、施設園芸・農業の記載を追加されたい。
- (3) 農産物の販売所やネット販売など、販売の強化をされたい。

26 就労・勤労者支援

- (1) 若年層の人口流出対策として、キャリア教育や探究活動などを追記されたい。
- (2) 今後、増加すると考えられる外国人労働者に対する日本語学習や生活支援などの取組を強化されたい。

[基本目標 5]

27 土地利用

- (1) 指標の「第 3 次三島市都市計画マスタープランにおける整備施策の着手率」について、分かりにくいため、具体的な事業名や件数などを加えられたい。
- (2) 「郊外の良好な住宅地を維持・保全していきます」という表現があるが、立地適正化計画では街中への誘導を進める施策を記載しており、整合を図られたい。

28 市街地整備

- (1) 中心市街地の賑わい創出や回遊性向上施策、立地適正化計画における都市機能誘導について、22 商工業・新産業、27 土地利用との重複となるが 28 市街地整備にも記載すべき。
- (2) 三島駅の南北移動環境の改善では、研究を進めますという表現であるが、JR との協議を進めますに表現を修正されたい。

- (3) 「電線類地中化事業を実施します。」という表記があるが、推進しますなどの表記に変更すべき。

29 道路

- (1) 市道の整備に関する記載に、危険個所や事故多発地域の解消に努めるような記載を追加されたい。

30 公共交通

- (1) 公共交通網の維持、利便性の向上という内容であるが、方向性が曖昧と感じる。公共交通空白地域の解消を進めるのか、維持するのか、方向性を明確に示されたい。
- (2) 公共交通の人口カバー率が地域によって差があり、地域格差の解消の取組を進めるべき。

31 住環境・移住定住

- (1) 指標の「不動産など各専門家団体との連携による空き家所有者への支援実施件数」について、目標をより多くすべき。
- (2) 中古住宅の流通促進が重要と考えるため、流通率を上げるような指標を追加されたい。
- (3) 現状と課題に「移住者の希望に沿えない」とあるが、より具体的に記載をされたい。
- (4) 移住定住に力を入れるため、WEBサイトの改善を明記されたい。
- (5) 「本市の強みを生かし」という記載があるが、強みについてより具体的に記載されたい。
- (6) 空き地の有効活用に関する取組を追記されたい。
- (7) 廃屋や荒廃住宅の関係などを追記されたい。
- (8) リノベーションの観点も加えられたい。
- (9) 空き家を移住者にマッチングできるような取組をされたい。

32 上水道

- (1) 老朽管に関する指標を検討されたい。
- (2) 目的に「将来にわたり安全でおいしい水道水を安定的に供給すること」とある。老朽管の対策について正面から取り組むべき。

33 景観

- (1) NHK 大河ドラマで当地域が出てくるため、関連の整備を進めるような取

組を実施されたい。

- (2) 眺望地点の指定とあるが、活用が重要である。積極的な言葉に修正されたい。
- (3) 富士山だけでなく駿河湾の景色も良いので、海と山の両方があることを追記されたい。

34 水辺空間・公園

- (1) 指標に公園化率を追加されたい。
- (2) オープンガーデンを作る個人花壇について追記されたい。
- (3) 公園の活用について、防災利用を含めた記載をされたい。
- (4) オープンスペースを官民連携で利活用する取組を追記されたい。

[基本目標6]

35 共創・コミュニティ

- (1) 指標の「市と市民団体や事業者との協働・共創の取組件数」について、年度によっても差が出てしまい難しいと考える。検討されたい。
- (2) 自治会数と加入率のグラフについて、意図が分かりにくいため検討されたい。
- (3) 協働と共創の違いについて、市民にも分かりやすいよう記載されたい。
- (4) 市民と併記して外国人市民も加えられたい。
- (5) 担い手の育成について、職員の育成だけでなく活動する担い手の育成を加えられたい。
- (6) 共創を理念とした町内会の新しい意義や、仕事内容を明確に伝えられたい。
- (7) 市が今後町内会に望む姿や在り方を計画に反映されたい。

36 広報・広聴

- (1) 障がい者や高齢者など情報から取り残されやすい人が情報弱者にならないよう、合理的な配慮を加えられたい。
- (2) 双方向のコミュニケーションの観点を追記されたい。
- (3) 広聴に関し、審議会、パブリックコメントの追記などを含め、広聴のあり方を今後強化していくような記載に修正されたい。

37 スマート自治体

- (1) 脱判子を明記されたい。
- (2) 政府が主導するシステムの標準化について、国との連携などの項目を追

記されたい。

- (3) ICTの推進とともに、職員でなければ出来ない仕事を職員が担うことで、市民サービスが向上できるような体制づくりについて記載されたい。
- (4) 行政運営の効率化においては、ICTを活用した働き方改革の推進だけにとどまらず、より積極的な表現にされたい。
- (5) AIやICTは、少子高齢化の中で市民サービスの低下を招かないだけでなく、行財政のスリム化も必要となっている。職員の仕事の在り方についても記載されたい。
- (6) 個人情報に関するリテラシー向上についても記載されたい。
- (7) ICT関連学習講座などについて、小中学生やシニアを対象にとされているが、保護者世代にもデジタルになじみがない人もいるため、全世代を対象とされたい。

38 財政運営

- (1) 廃止した施設の活用についての公民連携（PPP）の記載をされたい。
- (2) 新庁舎の建設について、スマート自治体の考え方も踏まえ、時代に合った検討が必要であると考え。コロナの状況を見ながら時間をもって考えるべき。
- (3) 新庁舎の建設ありきではない、幅広い市役所の在り方の検討を記載すべき。

39 行政運営

- (1) 富士山南東消防組合はコストの低減が言われていたが、実際には高くなっている。改善することを記載されたい。